

## 2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 岡崎城西高等学校 ] 担当教諭名 [ 小島 由美 ] ( 英語部 12名 )

交流相手国 [ 台湾 ]

海外学校名 [ National Hou-Bi Senior High School ] 担当教諭名 [ Yijing Zhao (趙 憶菁) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語部活動	世界をもっと知ろう	26

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	私たちの住む町
絵に込めたメッセージ	草の根レベルの国際交流を目指して、お互いの国のローカルな地元の文化遺産や風景をいくつか描き、今まで知らなかった異文化の風景の情報交換をして、お互いの親交を深めよう。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
二回のスカイプでコミュニケーションを図った。台湾から事前に受け取った贈り物(自己紹介カード・お菓子・ポストカード等台湾グッズ)について、お礼を言うところから始まり、受け取った時の喜びや感想を伝えて話題を共有した。内容が膨らみ、壁画制作への意欲につながった。	二回もスカイプでコミュニケーションを図る機会に恵まれたのに、いざとなったら、英語を使うことを恥ずかしくなってしまう、なかなか話せなかったのがいささか残念だった。これを教訓にして、二回目のスカイプでは、何とか英語で話そうとする生徒が増えた。回数を重ねれば、期待できそうだ。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
アートマイルについては、海外とつながりたいという意欲で取り組むことを決めた。初めはイメージが希薄だったが、スカイプで実際に話を進めて、国際交流をしていく体験の中から、絵を描く姿勢にも変化が見られた。異文化といえども同じアジア圏の国、台湾ということで、共通する部分も見出し、自国の文化を振り返る機会を得たようだ。	発展途上国とのスカイプは、通信うまく行かないことが多かった。今回はアジア圏の国との交流で、身近な意識も手伝い、活動内容が深くなり、スカイプや自己紹介書、生徒同士の手紙の交換等、生徒達の充実感が感じられた。また、相手国の教員との連絡もスムーズに進み、温かく励まされながら、取り組むことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	後期 9月	・相手国台湾の生徒達へ、自己紹介書の作成と、フォーラム書き込み。 ・台湾から送られてきた贈り物(自己紹介書・お菓子等)の鑑賞、感想のまとめ。	事前に台湾からサプライズの贈り物が届き、とても盛り上がったことで、身近な国、台湾の生徒達とスカイプでコミュニケーションを取る心の準備が整った。	部活2
テーマ学習	10月	・岡崎付近の町について、写真を撮り、それを説明する英文を作成。テーマは祭り、駅、畑、寺や、身近な食べ物で「寿司」等。	普段は自分たちの町について、じっくり見たり調べたりすることがないので、改めて自国の文化を振り返るきっかけになったようだ。	部活4
構図決定	10月	・第1回目のスカイプコミュニケーション ・大まかなテーマを決定。詳細については、メールで確認しながら構図を決定。	国レベルではなく、地域レベルの身近なテーマなので、自分たちの周りを見回して材料を集め、比較的容易に取り掛かることができた。	部活2
壁画制作	11月	・下絵を完成させ、絵を完成させることに集中。 ・描く絵ごとの担当決め。 ・色塗り。	広いキャンバスに描くということで、積極的に取り組んだ。また、キャンバス半分に描くことで、残りの半分のキャンバスの仕上がりも、イメージしながら楽しみにしていた。	部活16
鑑賞・振り返り	2月	・台湾から1月下旬に郵送されたが、3年生の2月の送別会まで待ち、皆で開封して喜びを分かち合う。	自分たちの絵も満足していたが、台湾の生徒達が描いた絵をととても高く評価できた。レベルの高い仕上がりで大いに刺激を受けたようだ。	部活2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	日本という大きな範囲ではなく、「岡崎」というローカルな地域レベルの文化遺産について、振り返る時間が持てた。
異文化の理解	A	4	自国の文化にある風景に相当するものが、相手国にもあるのではないかと発想を豊かにしながらイメージすることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	5	スカイプコミュニケーションを取るとき、ローカルな話題について、写真を使って英語で説明しようとする姿勢が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	自分たちの住む町について、身近な風景を写真に収め、それについて英語で説明するための文章を作成する時間が持てた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	特にスカイプコミュニケーションで実際に相手国の高校生とお話をする時は、話の内容も良く、気配りやマナーの良さが伺えた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	期限に間に合うように役割分担をし、相手国へ送るために壁画の制作に進んで取り組み、集中することができた。
学習を追究する意欲	B	4	部活動内という位置付けだったので、教室の中の授業とはいささか雰囲気が違うので、リラックスした雰囲気の中で取り組めた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	絵具を持ってキャンバスに向き合うと、発想が豊かになるようです。のびのびと描いていました。
作品を鑑賞する力	B	4	時間をかけて作成した壁画なので、もっとじっくり向き合う時間を設定してあげれば良かったと反省しています。

